

地域が主役の「生活支援」

～支えあう地域づくりのヒント集～

名古屋市では誰もが住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステム＝「住まい・医療・介護・予防・生活支援」の一体的な整備を進めています。なかでも「生活支援」は毎日の暮らしと密接に関わり、誰もが直面する可能性のある困りごとの解決策として、全国的にも注目を集めています。そこで、身近な地域で取り組まれている「生活支援」について知り、誰もが支え手・担い手として活動に関われる方法を区民の皆さまと一緒に考えたいと思います。

参加
無料



定員 **400名**

資料準備の都合により、事前にお申込みください。
[2月15日(木)まで、裏面申込書]

日時

2月16日(金)
13:30～15:30(受付13:00～)

会場

中川文化小劇場 ホール

対象

区内に在住在勤の方、介護・医療事業関係者、地域活動に取り組んでいる方等、どなたでもご参加いただけます。(手話通訳・要約筆記あり)

開会挨拶

13:30

中川区役所 区長 眞野 隆久
中川区社会福祉協議会 会長 鈴木 裕

第1部 講演

13:40～14:30

地域包括ケアにおける「生活支援」と多様な担い手への期待

金城学院大学 人間科学部 教授

朝倉美江氏



※裏面プロフィール

内容

- なぜ「生活支援」が注目されているのか？
- 公的支援・民間サービス・住民活動の協働
- 生活課題の支援事例と多様な担い手の参加

第2部 シンポジウム

14:40～15:30

身近な「生活支援」から考えよう、支えあう地域づくりとは

シン
ポ
ジ
ス
ト

- サロンでの取り組み
サロンまねき会 田中 邦幸氏
- 団地での取り組み
三日月住宅 藤田 昌平氏
- 地域団体の取り組み
千音寺学区 西川 幸江氏
(地域支えあい事業) 江村美智子氏
- 生協の取り組み
くらしたすけあいの会 福谷 佳子氏
- コーディネーター
金城学院大学 教授 朝倉 美江氏

お申込 (裏面申込書)・お問い合わせ

中川区役所 福祉課

TEL.363-4415

中川区社会福祉協議会

TEL.352-8257



主催：中川区役所、中川保健所、中川区社会福祉協議会、中川区東部・西部いきいき支援センター、中川区地域包括ケア推進会議(中川区生活支援連絡会)

協力：名古屋市中川区医師会、一般社団法人名古屋市医師会中川区在宅医療・介護連携支援センター、中川区介護保険関連事業者連絡会

平成29年度 中川区 “わがまちの地域包括ケアを考える” シンポジウム

手話通訳、要約筆記が必要な場合は、備考欄にご記入いただき、
2月15日(木)までにお申し込みください。

参加申込書 FAX: 352-7824

氏名	性別	年代(年齢)	備考

●事前質問欄

⇒講師への質問がありましたら、併せてご記入ください。

〔 シンポジウム内で一部回答する予定ですが、時間の都合上、全ての質問にお答えできない
場合がございますので、予めご了承ください。 〕

講師プロフィール / 朝倉美江氏 (金城学院大学 人間科学部 教授)

博士(社会福祉学)。社会福祉学のなかでも地域福祉が専門。
現在、愛知県薬事審議会委員、岐阜県福祉のまちづくり委員会委員、コープ
あいち顧問など福祉・医療・まちづくりの政策や活動に関わっている。主な著
書に『福祉ボランティア論』(有斐閣)『多文化共生地域福祉への展望 多文
化共生コミュニティと日系ブラジル人』(高菅出版)など